

仕様

型式 : キヤノン [LS-10T]①
 : [LS-12T]②
 表示 : 液晶表示 10桁(上記①)、12桁(上記②)
 演算桁数 : 置数、被演算数/演算数 10桁(上記①)、12桁(上記②)結果・上
 位桁優先 10桁(上記①)、12桁(上記②)
 使用温度範囲 : 0℃～40℃
 外形寸法 : 120mm(奥行き)×72mm(幅)×9.5mm(高さ)
 重量 : 57g
 電源 : LR54×1

●改良のため、予告なく仕様の変更を行うことがありますので、あらかじめご了承ください。

Canon



E-IJ-1272

LS-10T/LS-12T 使用説明書

本機を廃棄する際は、地方自治体の条例に従って処理をする様、お願い致します。
 詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

電源

本機は、太陽電池と内蔵電池の2電源を併用しております。電源は周囲の明るさにより自動的に太陽電池または内蔵電池に切り換わりますので、照度の弱い所でもご使用いただけます。

* 内蔵電池は、長時間にわたりご使用いただくことができます。内蔵電池が消耗しても太陽電池計算機としてご使用になれます。

* 使用済みの電池は、+極と-極をテープで絶縁してから、お住まいの地域の環境法と廃棄基準に従って廃棄してください。

◆本機は約7分間操作を行いませんと、むだな電源消費を防ぐために自動的に電源が切れ、表示が消えます(オートパワーオフ機能)。この場合は、

キーを押すと、再び電源が入ります。

お願いとご注意



△ 温度が変わるところ、湿気、ホコリの多いところでのご使用はお避けください。

△ 計算機をふくときは乾いた柔らかな布をお使いください。絶対にシンナーやベンジン、ぬれ雑巾等をお使いにならないでください。

△ 計算機本体を分解しないでください。万一、異常が感じられたら、販売店、またはパーソナル機器修理受付センターにご相談ください。

△ 液晶表示部はアクリルでできていますので強く押さないでください。

△ 強いショックを与えないでください。計算機の上に本を乗せる等、大きな力が加わると壊れることがあります。

△ 低温の場所で使用すると、液晶表示の応答が幾分遅くなる場合がありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。

修理お問い合わせ専用窓口

パーソナル機器修理受付センター
 (全国共通番号) 050-555-99088

[受付時間] 9:00 ~ 18:00
 (日曜、祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

製品取扱い方法ご相談窓口

キヤノンお客様相談センター
 (全国共通番号) 050-555-90025

[受付時間] 平日 9:00 ~ 20:00
 土・日・祝日 10:00 ~ 17:00
 (1月1日～1月3日は休ませていただきます)

- ※上記番号をご利用頂けない場合は、043-211-9632をご利用ください。
- ※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。
- ※上記記載内容は、都合により予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2012年8月1日現在

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

保証規定

1. 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間中に、万一故障した場合は、本保証書を本製品に添付のうえ、弊社または表記の販売店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理または機械交換を行います。なお、この場合の交通費、送料および掛かりはお客様のご負担となりますので、予めご了承ください。
2. 保証期間中での場合は有料修理となります。
 - (1) 取扱上の不注意、誤用による故障および損傷(表示画面のガラス割れ等)
 - (2) 不適切な移動・落下等による故障および損傷
 - (3) 弊社または表記の販売店以外での修理、改造による故障および損傷
 - (4) キヤノン製以外の消耗品や部品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障および障害
 - (5) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (6) 本保証書の提示がない場合
 - (7) 本保証書にお買上年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合
 - (8) 接続している他の機器に起因して故障が生じた場合
3. お客様に迅速かつ確実なサービスをお届けするため、同一機種または弊社規定に従い同等程度の仕様製品との機械交換方式を採用しています。なお、故障状況により部品交換方式を採用させていただく場合がございますので、予めご了承ください。
4. 消耗品類は、本保証書による保証の対象とはなりません。
5. 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、ご了承ください。
6. 転居、譲り受け、贈答等の場合で表記の販売店に修理を依頼できない場合には、弊社にお問合せください。
7. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
8. 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

※本保証書は、以上の保証規定により無料修理をお約束するためのもので、これにより弊社及び弊社以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 ※保証期間経過後は弊社規定の修理・交換料金を申し受けます。
 ※保証内容や修理のお問い合わせは、パーソナル機器修理受付センターまでお願い致します。

キーの説明

- ON**
CA 電源オン/クリアオールキー：電源を入れる時に押すキーです。計算中にこのキーを押すと、メモリも含めた全ての計算をクリアします。(税率はクリアされません。)
- C** 入力訂正/クリアキー：入力した数値を訂正するキーです。誤って数値を入力した直後にこのキーを押すと、表示がクリアされるので、正しい数値を入力し直すことができます。2回続けて押すと、計算途中の内容をすべてクリアできます(メモリ計算の内容はクリアされません。)
- M±** メモリプラスイコールキー：数値または演算結果をメモリに加算する時に使用します。

- M=** メモリマイナスイコールキー：数値または演算結果をメモリから引く時に使用します。
- RM**
CM リコールメモリ/クリアメモリキー：1回押すとメモリ内の数値を呼び出します。2回続けて押すと、メモリ内の数値をクリアします。
- ↔** サインチェンジキー：表示数値の符号を反転させるキーです。

計算しましょう

◆計算を始める前に、必ず **CA** キーを押してください。

計算例	操作	表示
	CA	(0.)
140-25+22=137	140 □ 25 □ 22 □ =	(137.)
9÷5×3.2+7-1=11.76	9 □ 5 □ 3 □ 2 □ 7 □ 1 □ =	(11.76)
(2+4)÷3×8.1=16.2	2 □ 4 □ 3 □ 8 □ 1 □ =	(16.2)
入力訂正の例		
(誤) 2×2 → (正) 2×3=6	2 □ 2 □ 3 □ =	(6.)
(誤) 152× → (正) 152	152 □ 99 □ =	(251.)
±99=251		
定数計算		
2±3=5	2 □ 3 □ =	(5.)
4±3=7	4 □ =	(7.)
1-2=-1	1 □ 2 □ =	(- 1.)
2-2=0	2 □ =	(0.)
2×3=6	2 □ 3 □ =	(6.)
2×4=8	4 □ =	(8.)
6±3=2	6 □ 3 □ =	(2.)
9±3=3	9 □ =	(3.)

計算例	操作	表示
パーセント計算		
① 300の27%は?	300 □ 27 □ %	(81.)
② 11.2は56の何%?	11 □ 2 □ 56 □ %	(20.)
割増し計算		
1,200+(1,200×17.5%)=1,410	1200 □ 17 □ 5 □ %	(1'410.)
割引き計算		
1,200-(1,200×17.5%)=990	1200 □ 17 □ 5 □ %	(990.)
メモリ計算		
3×4 = 12	3 □ 4 □ M+	(M 12.)
-) 6÷0.2 = 30	6 □ 0 □ 2 □ M+	(M 30.)
-18	M-	(M -18.)
+)	200 □ M+	(M 200.)
182	M+	(M 182.)
べき乗		
4 ³ = 64	4 □ □ □ =	(64.)
逆数計算		
1/2 = 0.5	2 □ □ =	(0.5)

税計算

計算例	操作	表示
税率の設定 (例: 5% に設定)		
	CA 税率 5 □ 税込	(税率 5.)
確認	CA 税率 税率	(税率 5.)
税込計算		
税抜表示額 2,000 円の場合の税込額 / 税額を求めます。(税率 5%)		
税込額 = ?	2000 □ 税込	(税込 2'100.)
税額 = ?	税額	(税額 100.)
税抜計算		
税込表示額 3,150 円の場合の税抜額 / 税額を求めます。(税率 5%)		
税抜額 = ?	3150 □ 税抜	(税抜 3'000.)
税額 = ?	税額	(税額 150.)
◆ 税込 / 税額 キーを押すことに、税込額 / 税抜額 → 税額の順に表示されます。		

オーバーフロー

次の場合は、オーバーフローサイン(E)を表示して、以降の置数、演算を停止します。オーバーフローは **±** キーを押して解除してください。

(1) 演算結果の整数部が12桁(LS-10Tの場合は10桁)を超えた場合
演算結果は上位12桁(LS-10Tの場合は10桁)のみを表示し、下位桁はカットされます。そのとき演算結果に小数点が表示されます。最上位桁から小数点までの桁数を数えると、カットされた下位桁の桁数を知ることができます。

計算例	操作 / 表示
(12桁の場合) 123,456,789,012 × 10,000 = 1,234,567,890,120,000 エラー	123456789012 □ 10000 □ = (E 1'234.56789012)

(2) メモリ内容の整数部が12桁(LS-10Tの場合は10桁)を超えた場合
(Mが点滅します。)

メモリがオーバーフローしたときは、**±** **M±** キーを続けて押せばオーバーフローする直前のメモリ内容呼び出すことができます。

操作	表示
(12桁の場合) 333333333333 □ 3 M±	(M 999'999'999'999.)
123 □ 456 M±	(M 1.00000005608)
±	(M 0.)
M±	(M 999'999'999'999.)

◆オーバーフローした計算結果はメモリに累積されません。

(3) 除数が0の除算を行った場合

操作	表示
200 □ 0 □ =	(E 0.)